

# Top Interview

トップインタビュー



代表取締役会長 野呂 裕一



代表取締役社長 播島 聡

## グループ葬祭3社ともに前年同期比増収増益で好調に推移 ライフエンディングのトータルサポート企業への進化と継続的かつ安定的成長を目指す

2020年3月第2四半期連結決算は、グループ葬祭3社ともに前年同期比増収増益となりました。グループ中核の葬儀社である公益社において首都圏、関西圏ともに葬儀施行件数が増加し、葬仙およびタリイにおいても葬儀施行件数が増加しております。さらに葬儀後のサポート(ライフエンディングサポート)は、2016年4月以降、グループ葬祭3社で強化しており、好調に推移いたしました。

葬儀施行件数の伸びは、会館の新設やマーケティングの

強化に加えて、サービス品質をお客様に高く評価いただいていることが実を結んだと捉えております。

まず会館新設につきましては、直近3年間に10会館(「公益社 くずは会館」「公益社 武庫之荘会館」「公益社 喜多見会館」「タリイ会館 西明石」「公益社 甲子園口会館」「公益社 千里山田会館」「公益社 東久留米会館」「公益社 会館 津久野」「公益社 上板橋会館」「公益社 吉祥寺会館」)を新設オープンいたしました。2019年度は、4月に「公益社

香里園会館」(大阪府寝屋川市)を、6月に「タライ会館 北大久保」(兵庫県明石市)を新設オープンしております。首都圏におきましては、新たな沿線への出店を積極的に実施し、そして関西圏におきましては、既存の会館の周辺に出店すると同時に、阪神間エリアへの出店を行い、営業エリアの拡大を進めております。会館新設による効果が葬儀施行件数の伸び、そして業績への貢献へとつながっています。

計画としましては、2019年4月以降の3年間で13会館の出店を予定しており、東西の大都市圏を中心に、新規出店を加速化しながらも、立地と投資対効果を追求する方針は今後も継続し、出店後の収益力が確保できる営業エリアの拡大を行ってまいります。2019年12月には、兵庫県川西市として初の出店となる「公益社 川西多田会館」のオープンを予定しており、この会館を含めて本年度は現時点で3会館の出店となります。

また、公益社の首都圏および関西圏における葬儀施行件数の伸びは、死亡者数の増加を上回っており、各エリアで当社のシェアが伸びていることを示しています。一方、葬儀の小型化傾向のなか、当社グループにおいても2020年3月期第2四半期の平均葬儀単価は低下しております。今後の葬儀単価の維持のためにも、お客様の満足

を追求しながら、よりいっそうの提案力強化に取り組んでまいります。

グループ葬祭3社による葬儀後のサポート(ライフエンディングサポート)としましては、返礼品や仏壇仏具の手配、相続相談・諸手続きのサポートや遺品整理清掃サービスをご利用いただくお客様が増えており、当社グループの葬儀以外のサポート範囲が拡大しております。今後はさらなる拡充を図り、ライフエンディングのトータルサポート企業への進化を目指します。

## 「人生100年時代」を見据えた ライフエンディングサポート事業の推進

「人生100年時代」と言われるほど長寿社会が進むにつれ、少子高齢化、高齢者単身世帯の増加といった社会情勢のもと、これから燦ホールディングスグループが社会に果たすべき役割は、ライフエンディングのトータルサポート企業へ進化していくことであると考えております。当社グループの新経営理念のミッション(私たちの使命)に「人生に潤いと豊かさを。よりよく生きる喜びを。」と掲げていますとおり、その実現に向けて常にチャレンジをし、葬儀施行以外のサービスの拡

充を図り、充実した、そして安心してよりよく生きるお客様の人生に幅広く貢献してまいります。

この9月には、ライフエンディングサポート事業の拡充の取り組みのひとつとして、株式会社日本総合研究所が設立した「CONNECTED SENIORS コンソーシアム 2019」に参画することを決定いたしました。本コンソーシアムは、高齢者が充実した生活を過ごせるよう支援する仕組みを創造し、その事業構想についての検討を行うものであります。一般企業から8社が参画しています。本コンソーシアムが目指す、高齢者が生涯にわたり自分らしい生活を続けるために必要なコミュニケーションを支援するサービスは、当社の理念とも合致するものであります。

また、2017年に立ち上げた介護事業、リハビリ特化型デイサービス施設「ポシブル」の展開におきまして、2019年11月1日に「ポシブル 甲東園」（兵庫県西宮市）を開設いたしました。当社としまして「ポシブル 箕面牧落」（大阪府箕面市）、「ポシブル 池田」（大阪府池田市）に次ぐ、第3号施設となります。より多くの地域の皆様にご利用いただき、ご利用者の運動機能と生活の質の向上に貢献していきたいと考えております。今後も出店を継続しながら、いっそうの収益力強化に取り組む方針です。

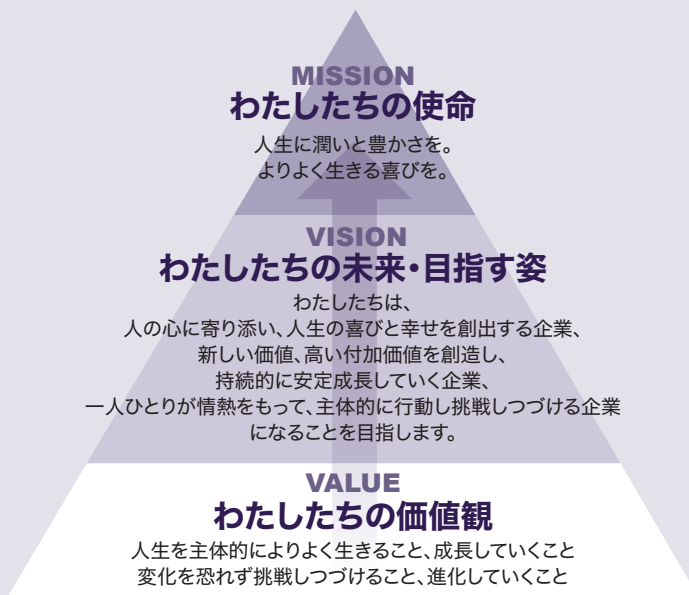
## お客様ニーズに即した開発・改善を実施 継続的かつ安定的成長を目指します

ライフエンディングのトータルサポート企業の実現に向けて、社会情勢や業界動向、お客様のニーズを分析しながら、新しい葬儀の在り方を考え、新しい商品を開発・改善し、そのうえでお客様に合わせた適切なサービスを提供することによって、継続的かつ安定的成長を目指します。

当社グループの業績を向上させることを前提に、お客様のさらなる満足を実現しながら、葬儀サービスにとどまらず、ライフエンディングのトータルサポート企業へと進化を遂げることで、企業価値、株主価値の向上につなげてまいります。

このたび当社株式の流動性を高めることを目的として、2019年10月1日を効力発生日とする株式分割を実施いたしました。また、2019年11月7日に、資本効率の向上を目的として、自社株式の取得を行うことを決定いたしました。安定配当を基本に増配に努め、株主様への還元を充実させていく方針でございます。株主の皆様には日頃のご支援に心から感謝申しあげるとともに、引き続き当社グループへのご理解およびご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

経営理念



中期経営計画(2019~2021年度)基本方針

1 | 新経営理念の浸透

新経営理念で定めたミッションを果たし、ビジョンおよび中期経営計画を達成するために、経営理念の浸透に取り組む。

2 | 人財力の強化

変化の激しい環境の中、競争力の源泉である「人財」を強化する。

3 | サービス品質の向上

サービス品質向上への取り組みを継続する。高品質で付加価値の高いサービスの提供が他社との差別化の最重要項目と認識し、徹底したこだわりをもってサービス品質向上に取り組む。

4 | 業務効率の改善

業務内容や役割の見直しおよびIT化等により業務改善を図り、生産性の向上に取り組む。

5 | ライフエンディングサポート事業の拡充

ライフエンディングのトータルサポート企業へ進化していくために、事業の拡充を図る。

6 | 新規事業の収益力強化

長期的な展望のもとで、燦ホールディングスグループの新たな柱となる事業創出のためのチャレンジを継続する。立ち上げた事業については収益力を高め、早い段階での利益貢献を果たす。

7 | 葬儀事業の積極的な営業エリアの拡大

東西の大都市圏を中心に、よりスピードを重視したエリアの拡大を行う。

8 | リスクマネジメントの強化

リスクマネジメントの強化を継続する。事業環境の変化に対応するための適切なリスクテイクの意思決定に基づく会社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を図る。